

ながよ町議会だより

No.169

Nagayo Town Assembly Newsletter

平成31年4月18日発行 長崎県長与町議会

3月定例会

- ◎新年度予算は適正かチェック 2
- ◎高田南の区画整理は一括施行へ 6
- ◎12人が問う 一般質問 12
- ◎議会50周年記念誌を発行 23



令和元年の新入生 おめでとう!

新年度予算は適正かチェック

平成31年度一般会計予算

可決
賛成13:反対2

31年第1回長与町議会定例会を、3月5日から22日まで開きました。一般会計予算、上・下水道、介護保険特別会計予算など、21の議案を慎重に審査し、いずれも可決しました。

問 町制施行50周年記念誌・記念動画はどの程度作成するのか。また、それぞれの予算はいくらか。

答 記念誌は2千部198万円。ダイジェスト版は1万4千部107万8千円で、世帯配布する。動画作成は347万7千円でDVDも千枚作製する。

問 結婚相談事業の現在の状況と今後の取組はどうなっているのか。

答 登録者は26年度の開設時115人でピーク時の27年度が161人の登録があった。その後、減少傾向となっている。昨年度、婚活の応援パンフレットを全世帯配布したが、現在65人の登録となっている。今後はイベントの充

答 実と新しい県事業なども活用していく。

問 病児・病後児保育施設はどこになるのか。

答 現在、長与町内のクリニックと実施の方向で協議している。

問 健康ポイント事業参加者を30年度の800人から1500人に増やす目標だが、若い人への周知も必要ではないか。

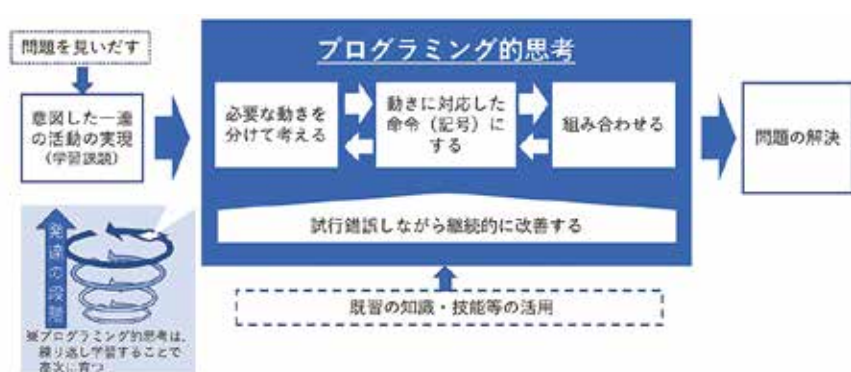
答 「ながよ健康のまち応援団」として町内事業所へ周知を行い、本町で働く町外者も対象とした。

問 中尾城公園のスパイラルスライダーは利用停止中だが、今後の改修計画はどうか。

答 今年度、公園長寿命化計画を策定し計上している。32年度くらいに事業計画ができれば、33年度に事業実施をと考えている。町の財政と県の補助金の関連もあるので、話を詰めて早く実施できればと考えている。

問 プログラミング教育の計画と担任の負担はどうなるのか。

答 32年度からの本格実施に先駆け、小さなブロックでロボットを組立て、搭載したコンピューターにプログラムを入力。6年生が3人1組となりロボットを動かして競技する。担任はルールと扱い方の研修を受けるだけで大きな負担はない。

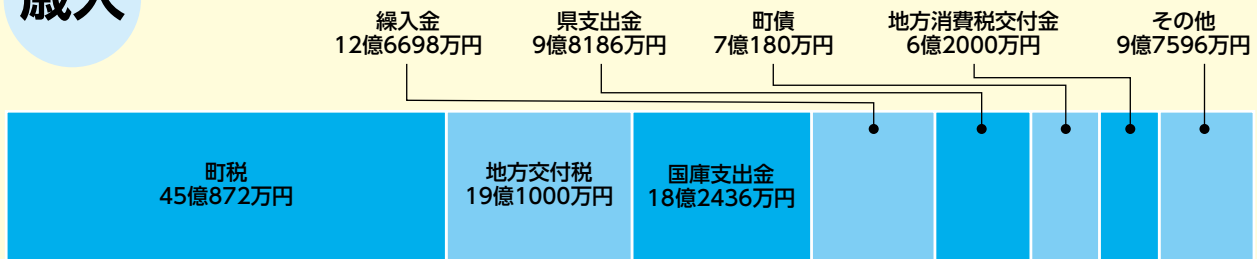


プログラミング教育が始まります (文科省資料より)

住民票などのコンビニ交付 小学生のプログラミング体験など

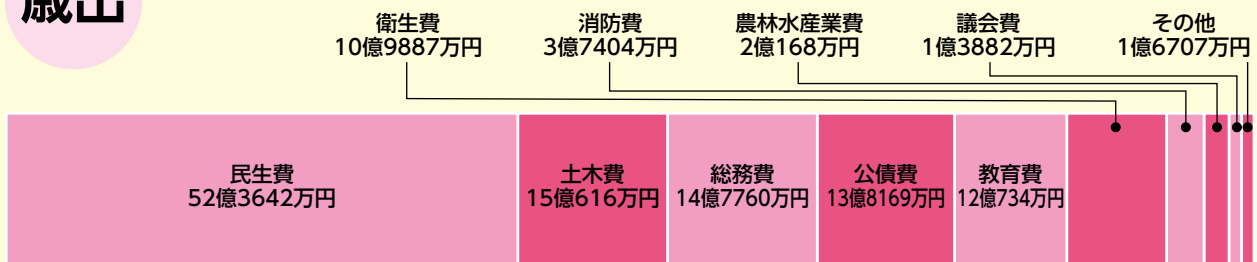
歳入

127億8969万円



歳出

127億8969万円



問 住民票などをコンビニで交付できるように計画しているが、町内全てのコンビニで利用できるのか。また、手数料はどうか。

答 全国のコンビニで利用可能となる。交付手数料については現行手数料と同額とする予定である。

賛成討論
喜しやまず、未来への投資評価
コンビニでの住民票など交付、給食共同調理場の空調設置、健康ポイント事業の継続、プログラミング体験教育など、暮らしやすい町づくりのための予算となっている。
(中村)
喫緊の課題にスピーディーに対応しながら、未来への投資にも予算を割いている。また、新しい取組をするとともに、生活文化の醸成と発信に注力している点を高く評価する。
(金子)

反対討論
住民、商工業者に我慢強いる
土地区画整理事業に財政を費やし、大型商業施設へ奨励金を払いながら、上長と公民館の入浴施設は廃止している。住民、商工業者に我慢を強いる一方、大型開発と大型商業施設優遇の予算であり納得できない。
(堤)

全会一致
可決

平成31年度
駐車場事業会計
予算

歳入歳出それぞれ775万3千円を計上。前年度比15万8千円、約2%減額しました。

問
定期契約は1台のみの利用だけではなく、車種を入れ替えての利用は可能か。

答
1区画に付き2台の登録が可能で、車種を入れ替えての利用はできるようになっている。



商店街に近く便利です

可決
賛成13:反対2

上長与地区公民館の特別施設使用料条例を
廃止する条例

年間の運営や老朽化した浴場施設の維持・管理に多額の経費がかかることや、気軽に立ち寄れる交流の場を提供したいなどの理由で、浴場施設の再開を断念し、特別施設(憩いの場)の使用料条例を廃止します。

問
継続する上で、入浴料の値上げや営業時間の延長など、利用者拡大につながる検討はされたのか。

答
料金については、400円以上であれば可能という試算は行った。営業時間の延長に関しては人件費の問題がある。

反対討論

金銭上の費用対効果では計れない重要な役割を果たしている

地域住民の相互交流、お互いの安否確認の場として機能しており、金銭上の費用対効果では計れない重要な役割を果たしている。赤字を出し申し訳ない利用者を感じるような説明のあり方が正しかったのか疑問が残る。

(堤)

賛成討論

入浴施設再開も視野に地元住民の意見を取り入れ

老朽化が進んでいることも確かであり、今後の計画の中で、入浴施設再開も視野に地元住民の意見を取り入れつつ、進めてもらうことができればと思う。

(金子)

質疑の中で温泉源の引き込みパイプは、そのままにしておくとの回答であった。改修、建て替えなどの検討時には、入浴施設の計画推進に期待。(分部)

全会一致
可決

その他の議案

長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の改正

職員の過度な長時間労働を制限し、効率的かつ良好な労働環境の整備につなげるため、時間外勤務命令の上限を定めるものです。

原則

- ・月45時間以下
- ・年間360時間以下
- ・他律的な業務(外的要因で増減するもの)
- ・月100時間未満
- ・(一定期間の平均が80時間以下)
- ・年間720時間以下

特別職の職員で非常勤のもの、報酬及び費用弁償に関する条例の改正

福祉および介護保険の分野における、専門職の報酬額について見直しを行い、処遇の改善を図るものです。

- ・介護保険専門員Ⅱ
 - ・介護相談員
 - ・介護相談訪問看護師
 - ・障害者相談支援専門員
 - ・療育指導員
 - ・原爆被爆者健康生活相談員
 - ・包括支援センター専門員Ⅲ
- の報酬時間額を1260円に増額しました。

全会一致
可決

平成30年度一般会計補正予算（第5号）

2億4551万円を減額

補正後の総額130億609万円

30年度における各種事業の支出額が確定したため、使われなかった金額の分については予算額を減らす手続きを行いました。
また、不足しているものについては増額・新たに計上しました。
ピックアップして紹介します。

1億200万円
減 額

空調設備設置
工事費

問
小中学校の空調設備設置工事費が減額されているが、全体の工事費についてはどの程度の金額になるのか。

答
事業費全体で約4億3千万円である。国からの補助金が約6700万円となる。

150万円
増 額

プレミアム付商品券事業電算システム改修委託料

問
プレミアム付商品券の購入対象者は何人か。

答
住民税非課税者6500人、3歳未満の子の数1200人となっている。

210万円
新規計上

農村地域防災
減災事業

問
藤ノ棟^{とくむね}ため池の耐震工事の内容は。

答
25年度に県が耐震調査を行ったときに、震度5弱レベルでの安全性が国の基準より下回っていることが確認された。ひび割れなどが数カ所あり、盛土補強工事とひび割れの補修を行う。



藤ノ棟ため池（三根郷）

300万円
減 額

健康診査委託料

問
健康診査委託料は300万円減額だが、受診者の推移はどうなっているのか。

答
29年度の子宮がん検診1520人、乳がん検診970人。30年度の子宮がん検診1790人、乳がん検診1520人であるが、30年度は新たに胃カメラ受診500人を計上している。



可決

賛成13:反対2

高田南の区画整理は

一括施工へ

31年度土地区画整理事業特別会計予算

歳入歳出5億1037万円

主な歳入は、国庫補助金4750万円、県補助金1050万円、一般会計繰入金4億5037万円、繰越金200万円です。



主な歳出は、県への委託料4億4511万円起債償還金6327万円です。

また、今回平成31～36年度の期間で債務負担行為限度額54億9075万円が示されています。これは、将来にわたる一括施工のための委託料の限度額を決めておくものです。

問

一括施工へのスケジュールはどのようになるのか。

答

*PFI法に準じて手続きを進める。31年度の早い時期に実施方針を公表し、夏頃に入札。後半までには業者を選定し、3月議会までに県議会と町議会の議決をお願いしたい。

*PFI

公共施設等の設計、建設、維持管理及び運営に、民間の資金とノウハウを活用し、公共サービスの提供を民間主導で行うこと。

問

一括契約をするまでの工事はどうするのか。

答

一括工事区域外を進める。

問

仮に、一括施工の契約業者が施工できなくなった時はどうするか。

答

契約時に危険負担、リスク回避の項目を明記し不測の事態に備えたい。

反対討論

リスクが大きい

今後の事業を一括発注する予算計上であるが大変リスクが大きい。町民全体に対して大きな不安を抱えており、賛成できない。
(河野)

賛成討論

もう失敗は許されない

早く換地を終わらせる。早く仮住まいに戻ってもらうことを議会は優先して考えるべきだ。
(安藤)

長年仮住まいの地権者の事を考えると、心中穏やかではない。
(安部)

**全会一致
可決**

30年度土地区画整理事業
特別会計補正予算(第2号)

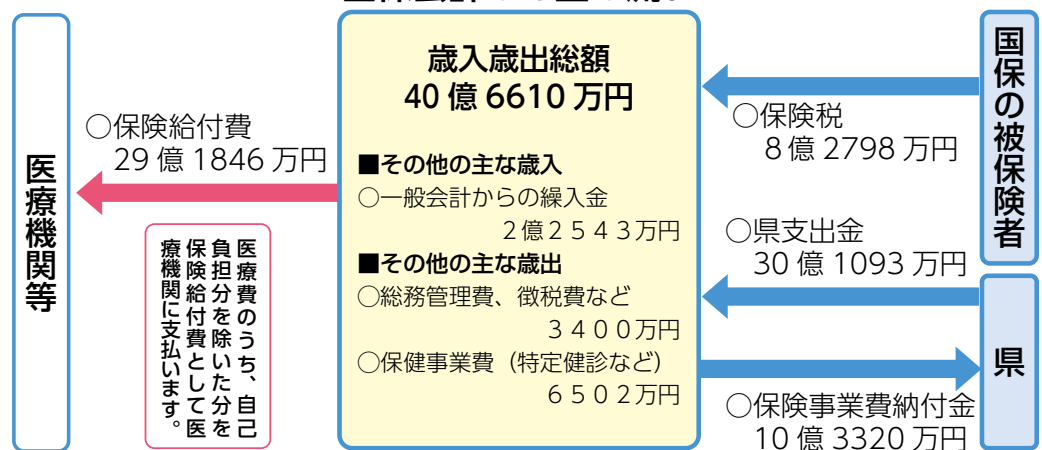
国庫補助金の内示減額に伴い、予算を1億5074万円減額し、補正後の予算総額を6億3379万円としました。また、繰越明許費として工事2件、建物移転補償4件などに1億3954万円を計上しました。

可決
賛成13:反対2

31年度国民健康保険特別会計予算

特定健診受診率向上で
医療費抑制へ

国保会計のお金の流れ



保健事業費はこんなことに使われます



1314万円



4580万円

訪問指導、健康教室、健康相談、各種ドック、はり・きゅう施術補助などを行い、健康作りをサポートしています。

特定健診、特定保健指導などを行い、健康情報の提供や病気の早期発見で重症化予防に努めます。

答	問	答	問	答	問
毎年3〜4%ずつ上昇してきている。今後も増加していくものと思われる。	今後の医療費の伸びの見通しはどうか。	一時的に保険給付費が増えることにより、現金不足になることも考えられる。	国保の運営が行われている。公債費の必要性がこれからもあるのか。	30年度から始まった補助で、各自治体の保険者が取り組んだ内容を応じて点数化し、交付金を配分する制度である。本町は850点中471点、交付金額は1417万円であった。	県補助金の中の特別交付金保険者努力支援分とは何か。

見込世帯数 4849世帯
被保険者数 8086人

可決
賛成13:反対2

30年度国民健康保険
特別会計補正予算(第3号)

歳入歳出それぞれ7187万円を追加し総額41億860万円となりました。歳入増額は全額県からの支出金です。歳出増額の要因は療養給付費及び高額療養費の増加によるものです。

賛成討論
予防事業を評価

健康ポイント事業や、保健指導でのタブレット使用など積極的な予防事業を評価する。
(饗庭)

反対討論
限界を超えている

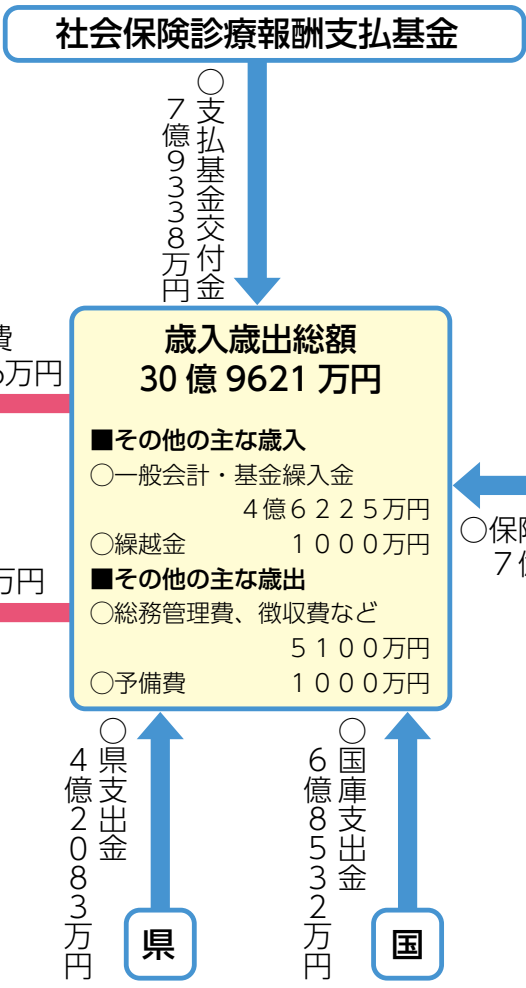
保険税は被保険者にとって既に限界を超えている世帯が多い。被保険者を取り巻く環境は改善されていない。
(河野)

可決
賛成13:反対2

第8期介護保険特別会計予算へ

31年度介護保険特別会計予算

第1号被保険者



介護サービスの提供に対して利用料の9割が国民健康保険団体連合会を通して支払われます。

介護サービス事業者等

介護予防に取り組む地域支援事業等

問
高齢者向けサロン事業の現状はどうか。また各団体の老人クラブとの連携はないのか。

答
現在19カ所、来年度2カ所増加の見込みである。一部では老人クラブの活動にプラスをした活動として、連携の動きもある。

問
8期計画では若年性認知症について反映するのか。

答
国においてこれから協議される。町では今のところ分からない。

反対討論

高齢者は救われていない

来たるべき高齢化のために消費税を導入しながら、高齢者は救われず、ますます厳しい環境へ追いやられている。
(河野)

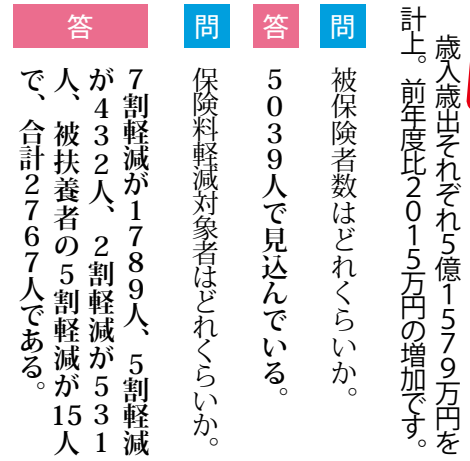
賛成討論

大いに期待できる

サポーターポイント制度は健康とご褒美を得られるというメリット施策。来年度の継続に大いに期待できる。
(安部)

可決
賛成13:反対2

31年度後期高齢者医療特別会計予算



反対討論

保険料の負担増

31年10月から9割減免、8・5割減免を廃止し7割減免となる。加入者が増えれば増えるほど医療費は増え、保険料は天井知らずに上がる。
(河野)

賛成討論

高齢者を守る重要な予算だ

高齢者と現役世代の負担を明確にし、社会全体で支え合う制度。高齢者の健康を守るための重要な予算だ。
(竹中)

第1浄水場（嬉里郷）の建て替えを計画 浄化センター（岡郷）も耐震化・高度処理化へ

全会一致
可決

31年度 水道事業会計・下水道事業会計予算

下水道会計予算

収益的収入	9億7,599万円
収益的支出	9億4,472万円
資本的収入	4億1,186万円
資本的支出	6億9,308万円
水洗化戸数	15,850戸
年間排水量	4,039,000m ³
1日平均処理水量	11,036m ³

水道会計予算

収益的収入	8億 326万円
収益的支出	7億5,820万円
資本的収入	2億3,091万円
資本的支出	4億9,215万円
給水戸数	15,822戸
年間配水量	3,709,081m ³
1日平均配水量	10,134m ³

問 浄化センターの改築工事の目的は何か。

答 県の大村湾水質基準遵守を指して、高度処理に対応できる施設に建て替える。

問 一般会計からの負担金が減額になつてゐるがなぜか。

答 起債（借入金）償還の一部が交付税となり国から一般会計を経由して下水道会計に入るが、元利償還金が減少していることと繰り出し基準が変わつたことが理由である。

問 場所選定の理由は何か。

答 既存施設との接続でスムーズな更新が可能であるためである。

問 第1浄水場管理棟建替用地購入はどこか。全面的に建て替える計画か。

答 現在の浄水場近くの土地を予定している。処理を終えた水を溜める地下水槽、1階に機械室、2階に管理室と現在の管理棟をそのまま建て替える計画である。

用語説明
 収益的収支…主に維持管理の関係
 資本的収支…主に設備投資の関係
 収入＝使用料、負担金
 収入＝補助金、借入金
 支出＝維持管理費、人件費
 支出＝建設改良費、償還金

放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の改正
 学校教育法の改正に伴い、放課後児童支援員の資格基準に専門職大学の前期課程修了者を追加しました。

布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の改正
 学校教育法の改正に伴い、布設工事監督者および水道技術管理者の資格基準に専門職大学の前期課程修了者を追加しました。また、技術士法の施行規則の改正に伴う条文の整備を行いました。

30年度下水道事業会計補正予算（第2号）
 下水道事業収益を175万円増額しました。し尿処理施設負担金の変更によるものです。また、収入の企業債を2360万円減額し、支出の建設改良費を4000万円減額しています。予定していた事業費及び企業債の減額によるものです。

30年度後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）
 歳入歳出それぞれ81万円を追加しました。歳入では保険基盤安定繰入金金の確定による減額、保険料の実績による増額、歳出はシステム改修費と広域連合納付金を計上しました。

全会一致
可決

その他の議案

一般質問

12人が問う

一般質問	質問は、行財政全般にわたって議員主導の政策論議をするもので、議員も執行側も十分な準備を必要とすることから、事前通告制です。 制限時間60分の範囲内で、一問一答制をとっています。
一般質問の記事	質問した議員が実際のやりとりの範囲内で執筆したものです。 原稿は、原則として1000文字以内で要約したもので、原文を尊重して掲載しています。
会議録の閲覧	会議録は、長与町図書館、長与北部地区多目的研修集会施設、高田地区公民館、上長与地区公民館、長与町議会ホームページで閲覧できます。
会議の中継・配信	本会議の様態を、ユーチューブでライブ配信・録画配信しています。ご自宅のパソコンやタブレットなどからもご覧になれます。

掲載ページ 一般質問の動画にリンクしたQRコードを掲載しております。ぜひご覧ください。

11	吉岡清彦議員	① 水道局（上水道、下水道）の事業、政策について ② 町長がやり残している政策の後半の取り組みについて ③ 交通対策について
12	饗庭敦子議員	① 長与町のこれからの町づくりについて
13	山口憲一郎議員	① 活力のある農業政策の実現について
14	分部和弘議員	① 町長の思うまちづくりについて ② スポーツ施設の充実について ③ ふるさと「ながよ」について
15	竹中悟議員	① 外国人雇用対策について ② 水道事業コンセッションについて
16	西岡克之議員	① 本町の施設使用料徴収について ② エアコン設置について
17	金子恵議員	① 産業振興について ② 子育てにやさしいまちの実現について
18	堤理志議員	① 交通対策について ② 子ども医療費助成について ③ 協働のまちづくりについて
19	河野龍二議員	① 子育て支援について ② 高田越地区内の町有地について ③ 交通環境整備について
20	安部都議員	① 行政のICTとタブレット導入について ② 子ども・子育て・教育政策について ③ 乗合タクシーの進捗状況について
21	安藤克彦議員	① 在宅育児への支援について ② コミュニティ・スクールについて
22	中村美穂議員	① 住民サービスについて ② 町の情報発信について



水道局の誇れる政策は何か



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 継続した水の供給に努めている

■ 議員 本町の水道事業の誇れる事業、政策は何か。また改善すべき点は何か。

■ 町長 水道事業は、昭和35年に創設し、急速な人口増加に対する整備や湧水などにおいても制限給水を行うことなく、継続した水の確保に努めている。改善すべき点では、

人口減少社会の到来に伴う水道料金収入の減少、水道施設の老朽化および人材の減少に向けた対策が必要である。下水道事業は、昭和48年に事業認可を得た。下水道人口普及率99・4%と県内でも上位の普及率を達成している。経営面においては、整備を早期に行い、より効果的な維持管理を行い良好な経営を行っている。改善すべき点は、自主財源の確保をはじめとする財政基盤の強化が重要である。

万全か 水の確保

■ 議員 水の確保策は万全か。

■ 町長 平成47年度までの水需要の予測を行っている。

地下水源が豊富な本川内地区から取水する認可を得ている。また、漏水防止などに取り組む。

■ 議員 水道法の改正で長与町の利点はあるのか。また、今後どのように水道事業に取り組んでいくのか。

■ 町長 重要な改正点として「広域連携の推進」「官民連携の推進」が明記されている。本町においては、今後調査研究を行っていく。今後の取組としては、老朽化対策である。



「おいしい命の水」を安全・安心にお願い！（第1浄水場）

問 健康宣言を機に取り組む政策は

答 健康づくりの環境整備を行う

■ 議員 町長の2期目も残り1年となったが、実現策と後半の取組は何か。

■ 町長 人口減少、少子化対策として、子ども医療費助成の拡大、「農業支援センター」を設置するなど、農林水産業の振興にも努めた。また、健康寿命の延伸事業に取り組んだ。今後も子育て、教育、健康づくりに取り組んでいく。

■ 議員 高田南土地画整理事業の状況はどうか。

■ 町長 残工事の一括施工に向け、31年度中に契約したい。

公園遊具の対策は

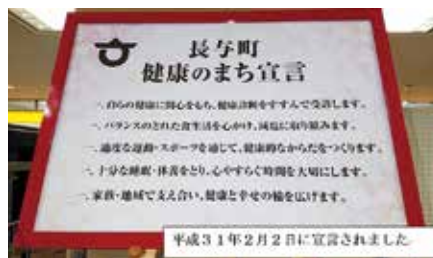
■ 議員 公園遊具の対策はどうなっているか。

■ 町長 30年度末までに、69基が完了し、大型複合遊具3基は、31年度補助事業となる。

■ 議員 待望の「健康のまち宣言」がなされたが、今後

の在り方はどうか。

■ 町長 広報紙などでPRし、健康づくりができる環境づくりに取り組む。



「健・幸 120歳」を目指して！

問 横断歩道 時差式信号機の対策を

答 管制センターの関係でむずかしい

■ 議員 長与中央橋をはさむ2つの横断歩道を1回で渡るようにできないか。

■ 町長 交通管制センターの関係で、現状維持となる。

■ 議員 岡郷方面から三彩交差点を右折時に、時差式信号機にすべきと思うがどうか。

■ 町長 交通管制センターで管理されており、むずかしい。



これからの町づくりはどうするか



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 子育て環境の充実 移住定住促進

■ 議員 長与町は31年1月1日で町制施行50周年を迎えた。記念事業が実施されている。これからの町づくりについて、子育て環境の改善や移住の促進についてどのように取り組んでいるか。

■ 町長 進学などで一旦長与町を離れても、帰ってきてほしいと思っている。そのため、生活環境の整備、子育て環境の充実を図り、移住、定



「50年後の長与町未来予想図」(絵画) 最優秀賞 ~夢があって素敵~
高田小学校 島田藤士さん作品

住促進に努めている。子育て環境の改善は、保育所の受け皿確保、ベビーバスなど育児用品の無料貸し出し、子育て支援センターの充実に努める。

■ 議員 「国連子どもの権利条約」に規定されている権利を町ではどう捉えているか。

■ ことも政策課長 生きる権利、育つ権利、守られる権利、そして参加する権利であ

り、守られて当然の権利である。

■ 議員 子どもが発する声や意見などを受けとめる仕組みはあるか。

■ 課長 学校の先生、家族、地域の近隣の大人、友達、児童厚生員が話を聞いている。

■ 議員 若者の転出超過が課題である。移住促進のために引越越し費用、家賃の補助などの考えはないか。

■ 政策企画課長 補助がなくても町への転入も一定あるので、今は考えていない。

■ 議員 町の高齢化対策の現状と課題は何か。

■ 町長 交通費、健康づくり助成券の支給、地域での見守りを行っている。課題は高齢者ニーズの多様化に応じた効果的な取組ができるかである。

高齢者の生きがい

■ 議員 高齢者の生きがいづくりで、独居の高齢者のパートナーや話し相手を探す婚活を考えてはどうか。

■ 福祉課長 勉強していく。

■ 議員 乗合タクシーの今後の展開はどうか。

■ 政策企画課長 試験運行期間を設け、検証したい。

■ 議員 健康ポイントへの勤労者層の参加促進と高齢者で健康に興味のない人をどうするか。

■ 健康保険課長 町内事業所、県庁職員、協会けんぽへの協力を要請している。高齢者には口コミで広げていく予定である。

■ 議員 大型商業施設オープン後の中央商店街は活性化できたか。

■ 建設産業部理事 影響はあまりなく、商工会と連携して頑張っている。

■ 議員 「50年後の長与町未来予想図」で子どもがいろんな夢を描いていた。町では50年後の長与町の未来予想をどのように考えているか。

■ 町長 新しいグラウンドデザインを1年ぐらいかけて、作っていききたい。



やまぐちけんいちろう
山口憲一郎 議員

活力のある農業政策の実現を

回答 農業経営者との連携を強化する



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 耕作放棄地の発生について、町はどのような要因があると捉えているか。

■ 町長 農業従事者の高齢化による労働力の低下と、進入路が無いなど条件不利地が考えられる。

■ 議員 耕作放棄地の発生防止について、どのような取組を行っているか。

■ 町長 中山間地域等直接支払交付金や多面的機能支払交付金を活用し、町内6地区の集落において農地や道路・水路の維持管理活動を行い、集落内の生活支援や環境保全も含めた共同作業が行われている。農地バンクとなる農地の貸し借りでは、農地中間管理事業や農業経営基盤強化促進法による農地の利用集積により、停滞を招かない継続した耕作が行われ、耕作放棄地の発生抑止に繋がっている。

■ 議員 高齢化が進む中で後継者不足が大きな課題となっているが、農家の担い手不足について町はどう考えているか。

■ 町長 担い手の問題については、生産資材の高騰や販売価格の低迷など、農業者では解決できない諸問題を背景として、農業の経営が不安定となり、長崎市などに隣接する地理的要件も加わって若者が他産業へ流失している現状にある。また、新規就農者についても、農業を始めるにあたり農地の確保や農業機械の導入など、初期費用が必要で綿密な就農計画が求められている。

■ 議員 農家の高齢化は急速に進んでおり、担い手の早期育成が強く望まれているが、町としての対応はどうか。

■ 町長 現在4人が、就農への準備型や経営開始型となる「農業次世代人材投資資金」を活用するなど、新規就農に向け研修に取り組んでいる。また、過去5年間で新規に就農した人は12人で、年に2人から3人が就農している。

■ 議員 農産物の生産拡大に向けて、どのような支援を行っているか。

■ 町長 省力化や生産コストの縮減など、大型機械の導入により、若者に魅力ある農業と作物の生産拡大を図るため、27年より長崎西彼農協を中心に基盤整備事業が計画され、30年度より概略設計に取り組んでいる。

■ 議員 鳥獣被害がなかなか減少しないが、効果的な対策について町はどう考えているか。

■ 町長 国や県、町事業によるワイヤーメッシュ柵および電気柵の設置。さらに、中彼猟友会に委託した捕獲業務などに取り組んでいる。有害鳥獣については、広域的に移動するため、本町だけの取組では解決できない要素も含んでいるが、継続して被害の防止施策を実践していく。



耕作放棄地 農業の担い手が不足しています



わけ べ かつひろ
分部 和弘 議員

コンパクトなまちづくりの取組は



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 バランスのとれた都市機能の配置

■ 議員 コンパクトなまちづくり実現に向けた取組状況はどうか。

■ 町長 「コンパクトで元気なまちづくりプロジェクト」として、中心市街地の活性化とバランスのとれた都市機能の配置、交通ネットワークの強化などに取り組んでいる。公共施設は総合管理計画に基づいた適正な維持管理に努め、行政サービスの提供と地域の交流拠点として、最適な配置について検討を進めるなど、機能的でコンパクトなまちづくりに向け、さまざまな施策を着実に進めている。

■ 議員 公共施設の集約、統廃合などの施策も必要になってくるものと思うが、町長の考え方はどうか。

■ 町長 29年度、施設の劣化状況調査を実施して、状態の評価を行うとともに、改修が必要な部位や改修経費の試算を行っている。今後10年間程度を目安に、必要な改修の計画を策定するとともに、更新を迎える施設については、

集約や複合化の可否について検討したいと考えている。

■ 議員 スポーツ施設の今後の整備に向けた考え方はどうか。

■ 教育長 29年度にはフットサルコートにナイター設備を設置し、利用者も増加した。今年度は町民体育館に上下可動式のバスケットボールのゴールを設置し、ミニバスケットボールの大会を開催することができた。来年度は町民ソフトボール主会場のふれあい広場のバックネットを改修し、町制施行50周年記念行事に華を添えたいと考えている。

■ 議員 スポーツによる経済波及効果を考えた場合、集客力のあるスポーツイベントの開催に向けた考えはどうか。

■ 教育長 本町のスポーツ施設は住民の皆さんが気軽にスポーツを楽しむ施設となっているため、観客スタンドなどが無く、多くの人を収容する設備も整っていないため

に、集客力のあるスポーツイベントについては、現有施設での対応は難しいと考えている。

ふるさとながよ

■ 議員 今後どのように「ふるさとながよ」の環境を維持して行くのか。

■ 町長 「ふるさとの風景」とは豊かな自然や、昔ながらの田園風景、伝統行事や祭りのある風景であり、普段の生

活の中で形づくられた歴史や文化と考えている。今後も「ふるさとながよ」の保全のため、地域コミュニティのさらなる強化を進め、地域で催される各種行事や浮立など郷土芸能を通じて、新しい長与町民となった人達との交流をなお一層深め「住みたい・住み続けたい・住んで良かった」と思われるような「ふるさとながよ」にしたいと考えている。



「住みたい」と思われるふるさとを



外国人雇用対策について



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 有意義と判断

■ 議員 昨年の改正入管移民法により外国人雇用の拡大が現実化された。我が国の少子高齢化による人手不足は深刻であり、日本経済にも暗い影を落としている。今回の改革で外国人のマンパワーと共存共栄の道も模索しなければならぬ。町の外国人雇用に対する基本的な考え方を尋ねる。

■ 町長 今後の地場産業の人手不足の解消に向けた取組を推進する過程において有意義なものになると判断する。

■ 議員 町における外国人の動向は把握しているのか。

■ 町長 外国人住民数131人。在住目的は技能・技能実習・家族滞在・日本人配偶者の順となり町内事業者雇用では2件を把握している。

■ 議員 外国人受け入れの対策は講じているのか。

■ 町長 30年政府方針では全国100カ所で共生のための総合対策で外国人窓口を設置。気象情報、地震速報など11カ国語対応をしている。本

町では生活支援として、「大きくな一れ」を3カ国語で作成。また防災・防犯・医療に関するパンフレットを作成している。県においては外国人受け入れ管理協議会の設置が予定されている。また国際交流協会においても町のインフォメーションマップを製作し、外国人が暮らしやすい環境づくりに協力を得ている。

■ 議員 外国人対応に役場窓口の設置の考えはないのか。

■ 町長 政策企画課に担当を置き必要に応じ所管と連携を図る。

■ 議員 外国人の職員採用はどうか。

■ 町長 今のところ考えていない。

■ 議員 外国人の宗教・習慣・実態を知るため町職員の海外研修は必要と思うがどうか。

■ 町長 今後の研修の一つとして考える。



安心・安全な長与の水を

問 コンセSSION方式の取組は

答 今後慎重に検討する

■ 議員 30年12月6日水道コンセSSION方式法が樹立したが報道各社は負の報道が支配的であった。わが町は水道事業の早期開業により送水配水管が老朽化している。今後公営企業は財政運営が厳しくなると感じるが基本的な考え方を尋ねる。

■ 町長 安全で良質な水を安定供給することを最大の使

命で取り組んでいる。水道施設の計画的な更新および適切な維持管理に努めている。

■ 議員 コンセSSION方式の考え方はどうか。

■ 町長 現在も浄水場および浄水施設等の運転監視および維持管理については民間委託を行っている。コンセSSION方式においては施設の所有権を地方公共団体が保有したまま施設の運営権を民間事業者を設定する方法であり民間の有意義なノウハウを活用するシステムである。今後慎重に検討していく。



にしおか かつゆき
西岡 克之 議員

高齢者の施設使用料廃止せよ



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 現状は考えていない

■ 議員 本町の施設使用料について、高齢者から「グラウンドゴルフ、ゲートボールなどを行うときに、使用料を徴収されるのがつらい」「他の自治体は取っていないではないか」「町はわずかばかりの年金からでも使用料を取るのか」などの意見を多数聞いた。何とかこの制度を廃止することはできないか。

■ 町長 現在使用料に関しては公平性の担保、施設使用の適正化、自主財源の確保の観点から29年4月より町民から使用料を徴収している。

■ 議員 勤労者など若い人については、町長の答弁は問題ないと考えるが、高齢者については除外すべきではないか。審議会でも徴収反対の意見はあったはずだ。スポーツ



使用料無料になればなあ

振興法でも自治体はスポーツの振興に努めなければならぬと規定しているがどうか。

■ 町長 町民は減免措置で対応している。また、徴収した金額で昨年は町民体育館にバスケットゴールを導入し、町民に還元している。施設の予約も取りやすくなったとの声も聞いている。

問 共同調理場の環境理解しているか
答 理解している

■ 議員 給食共同調理場は暑く、環境の悪さで救急搬送される職員がいたと聞いたが理解しているか。

■ 教育長 理解している。私も現場に確認へ行っている。

■ 議員 私もエアコン設置要望を受けた。いつも予算がないという事で終わっていたらしいが、今度は設置ができるのでこれ以上は追及しない。エアコン設置に向けて町内業者の取り扱いはどう

するのか。

■ 教育長 町内や、長崎振興局内に本支店を有するAランクの業者を指名し、基準を満たしていれば町内業者については全て指名している。

■ 議員 下請けなどはどうか。

■ 教育総務課長 落札業者にお願しているところである。

■ 議員 体育館は大規模災害では避難所や物資置き場になる。エアコンの設置はどう

か。

■ 教育長 小中学校の体育館には考えていない。

■ 議員 空き教室はどうか。

■ 教育長 31年度以降普通教室として使用が想定される教室と、特別支援教室には設置する予定だ。

■ 議員 使用規則についてはどう考えているか。

■ 教育長 学校環境衛生基準に照らし合わせて、適正かつ円滑に使用するための運用規則を策定する。



快適に給食が作れます



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

企業誘致により雇用拡大の取組を

回答 雇用拡大に向け企業立地を推進



かねこ めぐみ 議員

■ 議員 今後の産業振興は、地域が一丸となり総合的に取り組むことが求められる。産業振興に対する考え方を伺う。

■ 町長 地域社会にとって必要不可欠なものである。事業者の自助努力に加え、行政、商工団体等、住民も含め地域ぐるみの支援が重要と考える。

■ 議員 第9次総合計画に掲げる工業の経営基盤強化対策による成果をどう考えるのか。

■ 町長 西そぎ商工会開催のものづくり人材育成事業先端設備導入に対する固定資産税の特例措置などを行っている。

西側埋め立て地

■ 議員 企業誘致による雇用機会拡大の取組はどうか。

■ 町長 西側埋め立て地が適当な土地であるが誘致につながっていない。工場等設置奨励条例の改正により、西側埋め立て地以外にも立地でき



企業を誘致するための土地のはずが…

る環境整備を行った。これらを活用し、雇用拡大に向け企業立地を推進する。

■ 議員 西側埋め立て地は何のためにいつ造ったのか。

■ 都市計画課長 企業誘致のため、平成9年11月に竣工した。

■ 議員 工事に掛かった費用はいくらか。

■ 課長 町負担分は、約17億円である。

■ 議員 近隣市町と比較すると土地代が大幅に高いと聞

くが、価格を下げるなどの検討はしているのか。

■ 契約管財課長 価格算定はしていない。売却する場合は路線価ごとに算定しなければならぬ。また、過去の売却先との兼ね合いもあり、難しい判断をしなければならぬ。

■ 議員 売却せずにそのままにしておいてよいのか。当初の目的どおり、誘致のための土地として活用すべきではないのか。

■ 副町長 埋め立て申請時には企業誘致とされていた。購入したいという希望があれば売却すべきとは考えている。現在は町民一斉清掃などで利用している。雇用が生まれるなどのメリットもあると思うが、現段階では町が利用せざるをえない状況であり、すぐには考えられない。

問 産婦人科との連携
今後の展望は

答 情報提供など
連携できている

■ 議員 産婦人科との連携の現況と今後の展望はどうか。

■ 町長 産後うつチェック表の情報提供など、連携できている。また、出生届時に保健師、助産師が面談を行い、心身の状況や育児に関し聞き取りを行い、支援につなげている。

産後ケア事業

■ 議員 不安を抱えている母親に対しては、施政方針にある産後ケア事業で補っているのか。

■ ことも政策課長 近隣に頼れる人がおらず、相談ができない人のため、デイケア・ショートステイ事業を考えている。



未来の宝を育てるために子育て環境改善を



つつみ さとし 議員

移動困難地区の交通対策を

回答 乗合タクシーの試験運行を延長



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 本町は公共交通が充実しているが、移動に困難をきたしている地区もある。高齢化に伴い運転免許証を返納した場合、買い物や通院などが難しくなる事態も想定されるが、その対策はどうか。



急な病気でも財布の中身を気にせず病院へかかれる現物給付を

■ 議員 2地区で乗合タクシーの試験運行を実施した。今後、十分な検証のため、試験運行期間を延長し検証していきたい。

問 子ども医療費助成申請簡素化を
答 検討をしていく

■ 議員 子ども医療費助成の対象年齢が中学生までに拡大され、子育て世帯から評価の声が届いている。一方で、役場への申請手続きを簡素化してほしいとの意見が寄せられている。その解決法である現物給付方式を推進すべきで

はないか。

■ 町長 町の財政負担が大きくなることから、国や県に対し補助金等の要望を行っているが検討していく。

問 コミュニティのあり方 検討を
答 意見を聞きながら推進する

■ 議員 本町には小学校区を基本としたコミュニティ組織があるが、その構成員から、コミュニティのあり方について疑問の声が出されている。コミュニティの役割を否定するものではないが、本来の目的を果たしているか。

■ 町長 自治会単独では実施が困難な活動を行っていることを考えると、一定の目的は達成している。

■ 議員 団体役員、幹部だけの交流組織になっていないか。

■ 町長 コミュニティは自治会を中心とした各種団体の役員により構成されており、主に自治会役員や役員経験者

が就いている場合が多い。各イベントを実施する際には自治会に協力を依頼しなければならぬので、自治会から役員を選出するのは自然な流れかと思う。地域活動に長く関わっている方の知見は貴重と思う。

■ 議員 コミュニティ活動を負担に感じる意見に対し、何に負担を感じているのか意向調査を実施してはどうか。

■ 町長 意向調査は実施しないが、さまざまな意見を聞きながらコミュニティ活動を推進していきたい。

■ 議員 自主的な親睦、交流を促進するため、各コミュニティの拠点に開放スペースを設けてはどうか。

■ 町長 ふれあいセンターや南交流センターではロビーをフリースペースとして開放し、親睦や交流を深める場となっている。その他のコミュニティの拠点については、関係課で協議し、考えていきたい。



保育料の軽減を

回答 今のところ考えていない



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

■ 議員 先日私が町民に対してアンケートを行ったところ、保育料の軽減を求める声が多かった。他市町では第2子、第3子も無料の制度がある。本町も導入できないか。

■ 町長 本町は国の基準より低い保育料を設定している。低所得者世帯では、第2子が無料の他市町より保育料が低い場合がある。今のところ制度導入は考えていない。

■ 議員 不妊治療の助成制度も、他市町では県の制度に上乗せする独自の制度がある。本町の独自の助成制度の考えはないか。

■ 町長 総合的に勘案し検討したい。

問 高田越町有地の売却変更の考えは

答 将来的には売却する考え



高田郷周辺に広いグラウンドを

■ 議員 高田越町有地は、現在グラウンドゴルフなどに使用されている。この町有地は憩いの場であり、重要な拠点でもある。売却方針が出されたが、地元自治会などと協議は行ったのか。

■ 町長 地元自治会とは、新しく公園を新設することで協議を行った。

■ 議員 新しくできる公園は、グラウンドゴルフのコースが充分にとれるのか。

■ 都市計画課長 新しい公園にはとれないが、現在あるさくら野公園にコースがとれるよう整備する予定である。

■ 議員 高田越町有地は、高田郷の中心地であり、最も利用しやすい環境にある。また、災害時の避難場所として適している。売却の方針は変わらないのか。

■ 町長 将来的に売却する方針は変わらない。

問 高田踏切の渋滞解消はいつになる

答 32年から順次工事を始める

■ 議員 高田踏切の渋滞解消の進捗状況はどうか。

■ 町長 31年度までに、建物移転の償還と踏切拡幅の協議をする。32年度から工事に着手するが、想定以上の時間がかかると予想している。

■ 議員 歩行に危険を感じる状況である。早期の解決ができないか。

■ 都市計画課長 できるだけ早い改善を図りたい。

防犯灯が暗い

■ 議員 東高田バス停から長崎方面の歩道の防犯灯が、樹木に覆われて暗い。高さを変えるなど改善ができないか。

■ 町長 防犯灯の設置基準があり、一定の高さが必要と考えている。

■ 議員 役割を果たしていないのに高さは変えられないのか。

■ 総務部理事 町の基準の範囲内である。

町道の路面が凸凹

■ 議員 身近な生活道路や町道の改修を望む声が多く聞かれています。今後の改修をどう考えているのか。

■ 土木管理課長 限られた予算の中で、要望にはできるだけ応えていきたい。



生活道路の改善を急いで



あべ 都 議員

タブレット導入で仕事の効率化を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧ください。

回答 有用性や費用対効果など検証する



タブレットを導入し職員の負担軽減を！

■ 議員 行政がタブレットを導入しペーパーレス化することにより、仕事の効率化・生産性がアップし住民サービスへとつながるが、導入に向けた考えはあるのか。

■ 町長 ICT等を活用することは、効率的な行政運営、行政サービスの提供に有効な手段。27年にクラウド型基幹システムを導入し業務改善、業務の効率化を図った。有用性や費用対効果など検証を行っていく。

■ 議員 まずは、自治体向けICT推進セミナーデモンストレーションを職員に受けさせてみることから始めたらどうか。

■ 総務課長 職員には、必要な研修だと思ふ。進んで職

員にも案内したい。

■ 議員 災害時におけるタブレット導入で情報共有でき、メリットが大きいが活用はどうか。

■ 総務部理事 今後の検討課題である。デジタル防災無線が始まり、並行しながら努力していきたい。

問 子どもの虐待防止策はどうか

答 町独自のマニュアルを策定した

■ 議員 親などからの虐待件数はどれくらいか。

■ とも政策課長 29年度の相談対応数は76人である。

■ 議員 非常に多いと考えるが、継続中の案件はどれくらいか。

■ 課長 継続中が現在25人に減っている。

■ 議員 子どもの十分な心のケアはどうしているのか。

■ 課長 本町では、身体的虐待の他、心理的虐待やネグレクトの方の件数が多い。直接子どもに話をし、また、親

に寄り添い、子どものケアにもつなげている。

■ 議員 虐待についてマニュアルは策定しているのか。

■ 課長 本町独自のマニュアルを策定している。

■ 議員 28年から開始された虐待防止専門員は、どのように関わっているのか。

■ 課長 住民からの通報によって確認や面談をしている。

■ 議員 子どもの貧困対策で子ども食堂を行ったが、今後継続していくのか。

■ 課長 県立大学シーボルト校と連携し今年度子ども食



子どもたちへの虐待、いじめをなくそう！

堂を立ち上げた。来年度、地域も巻き込み整備をしていく予定だ。

■ 議員 現在ある学校支援会議と今後の学校運営協議会はどのようになるのか。

■ 教育委員会理事 今後は、学校運営協議会に移行する。

問 乗合タクシートの路線拡大を

答 試験運行を延長し検証を行う

■ 議員 乗合タクシートの路線拡大の検討はどうか。

■ 政策企画課長 試験運行を延長し、今後検証を行う。



在宅育児をする保護者への支援を



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。

回答 慎重に検討していく

- 議員 在宅育児をする保護者への支援は何があるか。
- 町長 町内で子育て支援センターが6カ所、子育てサロンが9カ所ある。また、子連れでの外出が難しいときや育児リフレッシュで利用ができる一時預かり事業、ファミリーサポート事業などの育児支援がある。さらに社会福祉協議会などが行っている家事支援や保育園の園庭開放がある。
- 議員 これらの中で在宅育児に限った支援はどれか。
- ことも政策課長 一時預かり事業と園庭開放に限られる。
- 議員 財政的に見て、保育所を利用する保護者と在宅育児をする保護者への町の支援の公平性についてはどうか。
- 町長 施設型給付費という財政的に大きな違いがある。保育園が在宅かは、各家庭の事情で自分たちで選択していることから、不公平感を感じている人はそれほどいないと感じている。
- 議員 この違いは数字で表せないか。

- ことも政策課長 予算で見ると、保育園の入所に係る施設型給付費13億円、在宅育児に特化すると1370万円で大きな差がある。しかし、在宅育児をしている人はサロンや包括支援センターの母子保健事業など色々なものに参加することができる。これにもかなりの予算を使っており満足度は高いと感じている。
- 議員 他の自治体には育児リフレッシュの一時預かりで利用できるクーポンを発行している所もある。このような支援の仕方もあるがどうか。
- 課長 確かに1、2回分が無料で利用できるクーポンを発行して取り組んでいる自治体もある。検討していきたい。

問 どうなる
コミュニティ・スクール

答 全小中学校に導入予定

■ 議員 法の改正で、学校には学校運営協議会を設置するよう努力義務が課せられた。しかし、本町の各学校に

- はすでに学校支援会議を設置し、充実した活動が行われていると思う。学校支援会議に対する町の評価はどうか。
- 教育長 子どもたちの安全安心な環境が作られ、授業や行事も充実したものとなっており、学校支援会議は必要不可欠な活動と捉えている。
- 議員 コミュニティ・スクールに対する町の考えは。
- 教育長 県教育委員会の考えを受けて町も設置することとした。学校と地域との連携、共同体制が構築しやすい事を考慮して全小中学校をコミュニティ・スクールにする予定である。中学校は学校支援会議を継続する。各校の学校支援会議は充実しており、地域総掛かりの教育がコミュニティ・スクールの効果と言われている。充実した実践が継続するようにしていきたい。



社会総掛かりでの教育の実現を！



なかむら みほ 議員
中村 美穂 議員

コンビニ交付の開始はいつか

回答 31年度1月をめどにしている



このQRコードを専用アプリで読み取ると、録画映像をご覧頂けます。



コンビニ交付にはマイナンバーカードが必要です
インターネットや役場でも申請できます

■ 議員 ふれあいカードによる交付機の利用について、年間の利用件数はどれくらいか。

■ 住民環境課長 29年度は1万1703件である。

■ 議員 ふれあいカードの交付機の保守契約が数年後には終了すると聞いているが、それに代わるサービスとしてコンビニ交付の開始はいつか。

■ 課長 31年度1月を稼働時期のめどにしている。

■ 議員 マイナンバーカード

どの交付申請率はどれくらいか。

■ 町長 31年1月末現在で、5383件、12・71%となっている。

■ 議員 交付申請率を上げるための周知活動はどのような事をするのか。

■ 住民環境課長 確定申告会場での申請受付や町の行事にも出向いて申請受付を行う。

■ 議員 マイナンバーカードで今後利用できるサービスはどのようなものか。

■ 町長 31年度長与町一般会計予算にコンビニ交付サービス事業の予算を計上しており、事業開始に伴い全国のコンビニで住民票・印鑑証明書・戸籍事項証明書・戸籍附票が受け取れるようになる。

■ 議員 土曜開庁の窓口サービスの変更内容は何か。また、今後はどうするのか。

■ 住民環境課長 4月から移行期間として住民係の一部サービスのみのとし、1年後には全ての土曜開庁窓口を終える予定である。

問 防災無線の情報発信は

答 調整を図りながら活用していく

■ 議員 広報ながよの改善された内容は何か。

■ 町長 読みやすい、伝える広報誌を目指している。新しい企画として、「役場のお仕事紹介」、「長与よかとこめぐり」郷別に紹介する「我が町シリーズ」の連載を始めた。

■ 議員 ホームページやS

NSの改善された内容は何か。

■ 町長 町制施行50周年では特設サイトを開設し、100日間のカウントダウンを行うなどした。SNSは29年3月よりフェイスブック・ツイッターで防災情報配信を開始し、季節にあつた情報発信に努めている。

■ 議員 防災無線は緊急時に使用するもの、行政情報の発信にも使えると思うが、文化協会や町民文化祭などの午後からの催しの案内を放送できないのか。

■ 総務部理事 調整を図りながら活用していきたい。

■ 議員 進学や就職で町を出た子ども達も帰ってきた町、ふるさと、魅力ある町の情報発信は重要だと考えるがどうか。

■ 町長 魅力ある町づくりをPRし、メディアを通して情報発信していきたい。

議会50周年記念誌を 発行しました

記念誌編集委員会
委員長 喜々津英世

長与町は、平成31年1月1日に町制施行50周年を迎えました。

議会では、記念事業として議会50周年記念誌を発行しました。

50年を振り返るだけでなく、議会をもっと知っていただき、議会に参加いただくことで、町民とともに確かな歩みを未来につなげていくことを願っています。

記念誌は、公民館や図書館などの公共施設に配置しているほか、町議会のホームページでも御覧いただけます。また、役場4階議会事務局でも無料にて配布しております。
(無くなり次第終了となります。)



※6月議会時に議場コンサートを予定しておりましたが、応募がありませんでしたので中止となりました。

町村議会議長会表彰

山口議員と竹中議員が、町村議会議長会表彰を受章し、3月5日に議場で表彰伝達を行いました。

竹中悟議員・長崎県町村議会議長会表彰(議員在職30年)



山口憲一郎議員・全国町村議会議長会表彰・長崎県町村議会議長会表彰(議員在職15年)

31年第1回定例会の議案および賛否

提案区分	議案	審議結果	浦川圭一	中村美穂	安部都	饗庭敦子	安藤克彦	金子恵	分部和弘	西岡克之	岩永政則	喜々津英世	山口憲一郎	堤理志	河野龍二	吉岡清彦	竹中悟	内村博法
執行機関	上長と地区公民館の特別施設使用料条例を廃止する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	○	※
	長与町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町布設工事監督者の配置基準及び資格基準並びに水道技術管理者の資格基準に関する条例の一部を改正する条例	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町一般会計補正予算(第5号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成30年度長与町下水道事業会計補正予算(第2号)	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成31年度長与町一般会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	※
	平成31年度長与町駐車場事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成31年度長与町国民健康保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	※
	平成31年度長与町後期高齢者医療特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	※
	平成31年度長与町介護保険特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	※
	平成31年度長崎都市計画事業長与町土地区画整理事業特別会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	▼	▼	○	※
	平成31年度長与町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	平成31年度長与町下水道事業会計予算	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町立小学校空調設備設置工事(1)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
	長与町立小学校空調設備設置工事(2)請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※
長与町立中学校空調設備設置工事請負契約の締結について	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	※	

(○賛成 ▼反対 ■棄権 ◆除斥 一欠席)
 ※ 議長は採決に加わらないため「※」で表示
 ※ 棄権とは、議員自らの意思により表決に参加しないこと。
 ※ 除斥とは、議員は直接の利害関係のある事件について、その議事に参与することができないこと。(地方自治法第117条)

傍聴席から

皆さまの声は抜粋、要約させていただきました。
たくさんのご意見ありがとうございました。

3月議会の傍聴者は
延べ **76人** でした

回答について、具体的なものがなかった。12月議会でも同じような回答ばかり。具体的な回答を準備し議論してほしい。
(年齢・性別 記入無し)

議会(行政)用語を町民目線に基づいて一般・日常用語に言い換える努力をしてほしい。
(60代 男性)

本議会で真剣な討議がされているのを体験できて良かったです。
(60代 女性)



次の定例会は **6月4日(火)** の予定です。傍聴をお待ちしています。

議長交際費	31年1月1日から3月31日までの 総額と件数
寸志・慶祝など	42,500円(7件)
香典 (生花スタンド)	30,160円(2件)
激励カンパ	20,000円(1件)
視察研修土産代	3,000円(1件)
支出合計	95,660円(11件)

議会情報を発信中！コメントをお待ちしております。

— 長与町議会 —
facebook

いいね! をよろしく
お願いします。

現在 **415名**
(3月末)

QRコード

<https://www.facebook.com/nagayochogikai>

編集後記

今期の議会だよりは、親しんでいただけたでしょうか。表紙の写真には敬老会、ヘルシーウォーキング、成人式、町民ソフトボール大会など、多くの皆さんにご協力をいただきました。大変ありがとうございました。

「平成」という時代の感動と思いが交差する中、「令和」に元号が変わり、新たな歴史が動き始めようとしています。

さて、現委員での編集作業も最後となりました。皆さんが満足のいく企画、編集ができたかどうか分かります。次号から新体制のもと、より充実した「議会だより」になるものと思っております。

これからも引き続きご愛読いただきありがとうございます。お申し込み申し上げます。

(分部 和弘)

議会広報広聴 常任委員会	
委員長	分部 和弘
副委員長	堤 理志
委員	浦川 圭一
	中村 美穂
	安藤 克彦
	吉岡 清彦
	竹中 悟